

## 思い出のメロディ（第24回 Kozoom28 のテーマ）

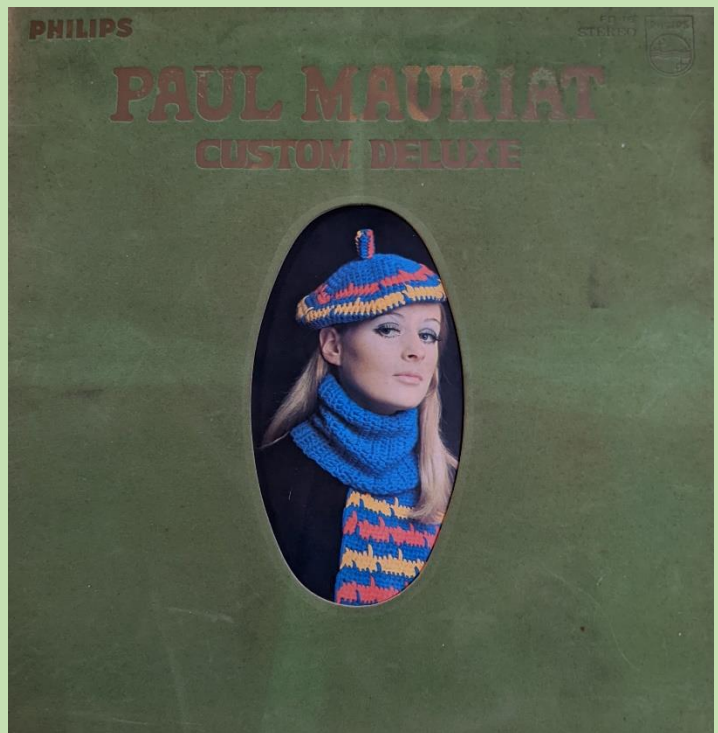
野口幹夫

終生好きなメロディといえば、モーツアルトの「弦楽セレナード アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク第1楽章」です。高津新聞部の部室は中庭に入る道に面した2階にありました。ここで高津音楽部の方々が練習されていた音楽が聞こえてくるのです。その曲がこれでした。

最近聞くチャンスが無くなりましたが、忘れえぬメロディにポールモーリアの「恋は水色」があります。結婚祝いに同僚たちがプレゼントしてくれたLPでした。なんともロマンチックな音楽で新婚気分を思い出させてくれます。

カラオケに誘われて歌うなれば、谷村新司の「昴」ですね。あの歌詞にも惹かれます。

人生の後半15年間地元の合唱団でバッハ ヘンデル モーツアルト ベートーベン ブラームス・フォーレらの大曲をこなしましたが、いつまでも心に残っているのは、よくアンコール曲でうたったモーツアルトの「アヴェ・ヴェルム・コルプス」です。彼の死の年につくられた曲ですが、若死にだったにせよ 達観した死の賛歌ともいえる素晴らしい曲です。



日本のポピュラー曲で好きなのは「翼をください」です、今放映中のチムドンドンで、体の弱い末娘の歌子がこれを切々と歌っていますね。悲しみの無い世界へ飛んでいきたいと。

毎朝のエキササイズで、5時に起きて、まず公園で気功体操をしますが、その時ある姿勢を3分間持続する必要があるのですが、そのタイマー代わりに口ずさむ歌が、アニメ映画

「千と千尋」の主題歌「いつも何度でも」です。この曲は主題歌なのですが、実は映画のシナリオとは無関係に作られた作詞:覚和歌子,作曲:木村弓の歌です。私はこの曲の詩が死の克服を見事に言葉にしていると感心して好きになったのです。そのあとの本番のラジオ体操が始まりますと、冒頭に藤山一郎が作曲した「ラジオ体操の歌」で始まります。それに合わせて、海に向かって、合唱の時と同じ全声量と発声姿勢で歌います。さわやかな一日の始まりです。